



『はだしのゲン』を世界中の子どもたちに贈ろう

NPO法人
はだしのゲンをひろめる会

事業案内





核兵器廃絶の願いを 『はだしのゲン』に託して



第2次世界大戦で初めて使用された核兵器・原子爆弾。唯一の戦争被爆国となった日本に生まれ育った私たちは、人類が再びこのような惨禍を繰り返すことのないよう、あらゆる手段を使って核兵器の非人道性を世界に伝える責務があると考えます。

これまで国内外で被爆の実相を語ってきた被爆者の皆さんの高齢化に伴い、被爆証言を次世代に託すことが急務となっています。その意味で、核兵器の残酷さと平和の尊さを描いた漫画『はだしのゲン』（中沢啓治作／全10巻）の果たす役割は大きいといえます。

私たちははだしのゲンをひろめる会は、思想・信条・民族・国境を越えて語りかけるゲンの平和のメッセージを、国内はもちろん、世界中の若者や子どもたちに届けることを目的として、2012年に設立しました。

『はだしのゲン』は金沢のボランティアグループ「プロジェクト・ゲン」が翻訳した英語版やロシア語版をはじめ、海外の多くの人々の手により、24言語で出版されています（2017年6月現在）。ゲンが5大陸をかけめぐり自らの被爆体験を語りかけるとき、読者はゲンを通して被爆の実相を理解し、苦境のなかユーモアを忘れず、たくましく生き抜くゲンに共感することでしょう。ゲンの物語に耳を傾ける若者が多くなればなるほど、私たちは未来に核兵器廃絶への希望を見出すことができます。

核兵器禁止条約が制定された今、核兵器のない世界への展望が大きく広がっています。私たちは、核兵器廃絶の願いをになって今日もはだしで世界をかけめぐるゲンの旅が、多くの実りをもたらすことを期待して、『はだしのゲン』を国内外にひろめることに尽力します。



活動内容

英語版・ロシア語版等の『はだしのゲン』を国内外に普及する事業（※）、小中学校や図書館に漫画『はだしのゲン』を普及する事業を行うほか、核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力し、原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業を展開しています。

詳しくはホームページをご覧ください。
hadashinogen.jp



活動の柱

- 英語版・ロシア語版等の『はだしのゲン』を国内外に普及する事業（※）
- 小中学校や図書館に漫画『はだしのゲン』を普及する事業
- 原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業
- 核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力する事業
- 会の活動状況や原爆資料に関する情報提供等の広報事業
- 会の賛同者、賛同団体の募集事業 など

（※）はだしのゲンをひろめる会では、漫画『はだしのゲン』の英語版、ロシア語版、日本語版、中国語（繁体字）版、朝鮮語版を普及しています。



寄贈実績

2013年度

ウズベキスタン リシタンジャパンセンター

2014年度

国連大学
ピースボートおりづる大使
フィリピン共和国大使館 Admin Section
AFS日本協会東海支部
JICA中国
アメリカ ニューヨーク州立ストーニーブルック大学
ロシア 国立中等教育機関 第583校(小学校)
ロシア 国立セントペテルブルク文化芸術大学
ロシア 国立セントペテルブルク大学東洋学科
ロシア キリスト教人道アカデミー

2015年度

パラオ共和国 コロール市内の小学校(2校)
パラオ共和国 ベリリュー島 小中学校
中国 北京大学外国語学院新樓日本語文化系
中国 北京日本人会図書室
中国 国際交流基金 北京日本文化センター
中国 北京外国語大学 北京日本学研究中心
中国 東北大学秦皇島分校語言学院
中国 中国人民大学外国語学院日語系
中国 首都師範大学北一区外語学院日語系
中国 北京言語大学図書館
ニュージーランド ローズバンク法律事務所
ニュージーランド オークランド補習校
台湾 台湾大学日本語文学部
アメリカ グラム大学図書館
フィリピン共和国 フィリピン大学バギオ校

2016年度

中国 四川外国語大学日語系
名古屋市立大学図書館
アラビア語が公用語の在日大使館、領事館(23カ所)
以上のほか、各国個人等に寄贈しました。
2017年6月現在の寄贈数 37カ国、66カ所



海外の読者から 寄せられた感想 (プロジェクト・ゲンに届いた感想文)

幼い平和の戦士!いろいろな国を歩いてください!

どんな戦争も、核戦争以上のものではありません。愛しいゲン!永遠に生きてください!そして、地球が永遠に平和でありますように!幼い平和の戦士!いろいろな国を歩いてください!
(チェルノブイリの読者、ロシア語版)

世界が『はだしのゲン』を必要としています

この本がまだ多くの人に知られていないことを残念に思います。また、教科書が原爆について一言も触れていないことに、とりわけ、私は騙され、嘘をつかれていたことに怒りを覚えます。

この本がいつでも外国の読者の手に入るように取り計らってください。世界が『はだしのゲン』を必要としています。中沢啓治さん、これらの本を書いてくださってありがとう。中沢さんは世界をより良い方向に向かわせてくださいました。
(アメリカの中学生、英語版)

悲劇の記憶を世代から世代に伝えていくこと

私たちだけでなく、私たちの子孫が核戦争のこれ以上ない恐怖を体験しないために、今私たちがしなければならぬことは、この悲劇の記憶を世代から世代に伝えていくことです。

この物語で最も大切なことは、いかにして恐怖と絶望に打ち勝ち、人々に対する善意を持ち続けることができるか、冷酷にならずにいられるか、いかに人生の喜びを見出すかを教えていることです。親たちは『はだしのゲン』を子どもたちに読ませることを恐るべきではありません。
(キエフ大学の学生、ロシア語版)

広島が出来事が人権に反映されるように

広島が出来事が科学的資料となり、人権に反映されることを望みます。多くの人が広島原爆について知らず、平和の意味と命と美の価値を正しく理解できないのだと私は確信しています。私たちが平和教育を受け始めれば、世界のどんな政治勢力よりも大きな効果を発揮するでしょう。
(カイロ大学1年生、アラビア語版)



はだしのゲンをひろめる会の会員が増えれば増えるほど、平和の種まきをしながら世界を行脚するゲンの活動は広がり、強固なものになります。ゲンが世界中の子どもたちに出会うことができるよう、ご入会と寄贈募金にご協力をお願いします。

<年会費> 正会員：個人5,000円／団体20,000円
賛助会員：個人3,000円／団体10,000円
会計年度は4月1日から翌年3月31日までです。

<郵便振替口座>00760-6-40516

加入者名：「はだしのゲン」をひろめる会

ご入会くださる場合、会員の種類と連絡先をご記入のうえ、上記の郵便振替口座に会費をお振込みください。また、寄贈募金も随時受け付けています。ご不明な点等ありましたらお気軽にお問い合わせください。

私たちも応援しています (賛同人の皆さん) 50音順

●秋葉忠利さん (前広島市長)

●石田優子さん (映画監督)

ひろめる会の活動がさらにさらに広がることを心よりお祈り申し上げます。

●岩佐幹三さん (日本原水爆被害者団体協議会顧問)

あの日、原爆孤児になった私には、ゲンは他人事とは思えません。ゲンはさまざまな被爆者の苦悩と重荷を背負って原爆被害とたたかい続けたシンボリック的存在だと思います。「核兵器のない世界」を築くためにも国の内外に広く普及されることを願っています。

●長内美那子さん (女優)

●加藤登紀子さん (シンガー・ソングライター)

『はだしのゲン』の生きることへの強い思いを、是非これから生きる世代に伝えたい!

●神田香織さん (講師)

私は『はだしのゲン』を講談にして語っています。子どもがた

くましく生きていくためには欠かせない「教材」だと思っています。それを教育委員会が閲覧制限する時代となってしまいました。時代が大きく変化し始めています。中沢さんの意志を継ぎ、『はだしのゲン』をさらに広げていきましょう!

●スティーブン・リーパーさん (前広島平和文化センター理事長)

●柳川慶子さん (女優)

核兵器廃絶、原発即時ゼロを願う思いを伝えるのに『はだしのゲン』を読んでもらう、映画、演劇、音楽、絵画を介して思いを伝える道は色々あると思います。この行動は休んではいけないのです。大人から子どもまで常に自分の問題として行動してもらえるよう皆様各々の表現で継続してください。私は『夏の雲は忘れない』の朗読劇を細く永く継続したいと願っています。

●山口果林さん (女優)

世界中の子どもたちが瑞々しい目で『はだしのゲン』と向き合い、感じてほしいと心から願っています。

●吉永小百合さん (女優)

『はだしのゲン』作者 故・中沢啓治さんからのメッセージ

『はだしのゲン』が英語版や各国語に翻訳され始め、ゲンははだしで世界を闊歩しています。ゲンは地球上を何百回、何千回もはだしでかけめぐり、愚かな戦争と核兵器を無くすためにガンバル決心でございます。また、世界平和と核兵器反対が少しでも多くの人に理解されるよう、『はだしのゲン』がしっかりと役目を果たしてくれることを願っています。

皆さん、ゲンに力を貸してやってください。

ゲンはたくましく生き抜いていくでしょう。

お互い力を合わせて頑張りましょう。

よろしくお願い致します。



2012年12月9日

中沢啓治

(はだしのゲンをひろめる会設立総会に寄せて)



NPO法人 はだしのゲンをひろめる会

<事務所>

〒920-0813 石川県金沢市御所町1丁目56番地 (神田方)

TEL/FAX 076-251-8644

HP <http://hadashinogen.jp/>